

回復期リハビリテーション病棟

(平成30年11月より回復期リハビリテーション入院料1取得)

回復期とは、脳血管疾患や、大腿骨頸部骨折、脊椎・骨盤骨折、その他の病気を患い、急性期治療を終えて症状が安定し始めた1～2ヶ月後の状態をいいます。この回復期といわれる時期に、医療専門職がチームとなり集中的・包括的にリハビリを行い、日常生活を送るために必要な基本動作を改善し、在宅への復帰をめざす病棟です。

当院では回復期対象の患者さまに対して、機能の回復や日常生活に必要な動作の改善を図り、寝たきり防止と社会や家庭への復帰を目的とした、患者様ごとのリハビリテーションプログラムに基づき、多職種共同で集中的なリハビリテーションを提供しています。また、当院独自のリハビリ友の会を立ち上げ退院患者様の在宅支援に努めています。

なお、宇和島徳洲会病院では退院後もおうちで安心してすごして頂くために、通所リハビリテーション・居宅介護支援事業所を併設し、医療と介護の連携にも重点をおいています。また、訪問診療・訪問看護・訪問リハビリも積極的に行っています。



入院対象者

疾患等	状態と発症からの期間	入院可能期間
脳血管疾患 脊髄損傷等	脳血管疾患、脊髄損傷等の発症又は手術後2ヶ月以内の状態	150日
	脳血管疾患、脊髄損傷等の発症又は手術後2ヶ月以内の状態 (高次脳機能障害を伴った重度脳血管障害、重度頸髄損傷及び頭部外傷を含む多発外傷の場合)	180日
整形疾患等	大腿骨、骨盤、脊髄、股関節又は膝関節の骨折又は手術後2ヶ月以内の状態	90日
	大腿骨、骨盤、脊髄、股関節又は膝関節の神経・筋・靭帯損傷後1ヶ月以内の状態	60日
廃用症候群	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群(長期臥床による下肢筋力低下した状態)を有しており、手術後又は発症後2ヶ月以内の状態	90日

入院までに至る期間(発症から2ヶ月以内)と、入院してリハビリが行える期間が定められています。詳細等、不明な点がございましたらご相談ください。

第2回 総合診療を語る会を開催しました!

令和1年7月17日(水)総合診療についての講演会が開催されました。

今回は「日本、愛媛、南予の総合診療って」～僻地でアメリカ大学院に通学する立場から～という題名で、愛南町国保一本松病院副院長の嶋本純也先生に講演して頂きました。

はじめに講演会を主催した宇和島徳洲会病院総長貞島博通から、南予にとって総合診療は重要であり、総合診療医をどうやって育て、増やしていくか課題ですと挨拶がありました。

講演では、高齢化社会と医療スタッフ不足を抱える僻地医療の考え方として、予防医療の強化が必要ではないかと感じたことから、E BM(根拠に基づく医療・公衆衛生)を早くから取り入れているアメリカの大学院で学んでいること、病気にかからなければ、患者が増えることもなく、医療負担を軽減することができるのではとの考え方や、現地で実際に学んでいる様子などが紹介されました。さらにインターネットを利用して、地方にいても情報交換が出来ることも実践し、スクリーニング検査の考え方、必要性を学び、データをもとに行政を交え、みんなで予防し、僻地でもできる、僻地だからできる取り組みを南予から発信していきたいと話されました。講演会には、約60名の参加があり、他の各医療機関や施設方にもご出席して頂き、地方医療の新たな視点に、耳を傾けてとても有意義な講演会となりました。

●演者プロフィール

2008年 自治医科大学医学部卒業
松野町国民健康保険中央診療所 副所長
愛南町国保一本松病院附属内海診療所 所長
2019年 国保一本松病院 総合診療科 副院長



「うわじま牛鬼まつり 2019」

7月22、23、24日の3日間、うわじま牛鬼まつりに参加しました。

当院は今年で9回目の参加で、ガイヤカーニバル 52名、うわじま踊り 50名、親牛鬼パレード 54名で参加。ガイヤカーニバルの衣装は当院オリジナルTシャツと女性はオレンジのバンダナで統一し、経験者から初心者、お子さんまで皆が元気よく楽しんで踊ることができ、うわじま踊りはうちわ2本体制で臨み、練習通り息の合った踊りを披露することができました。

残念ながら賞をいただくことはできませんでしたが、夏の素敵な思い出となりました。

当院の牛鬼は徳洲会カラーでもある緑を基調としており、衣装は当院オリジナルの紺色の法被で統一しています。まつりに参加することで、少しでも宇和島を盛り上げることができたかと思えます。

うわじままつり実行委員会



ホームページアドレス
<https://www.uwatoku.org/>

